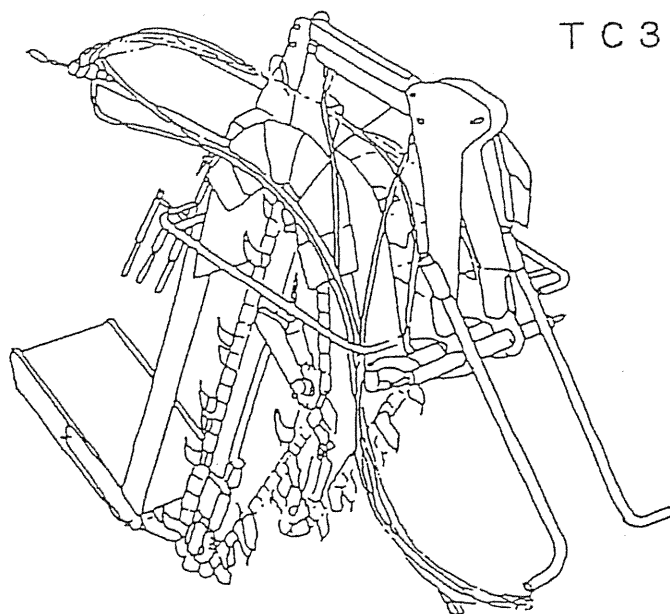


取扱説明書

長いも掘取機

コンベアトレンチャー



TC315WD




当商品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方を
すると、事故を引き起こすおそれがあります。
使用前に必ずお読みください。
お読みになった後も必ず商品に近接して保管してく
ださい。

目 次

はじめに	1
安全に作業するために	2
◎一般的な注意事項	2
◎作業の前に	3
◎トラクタへの着脱	4
◎路上走行	5
◎圃場の出入り	5
◎作業をしているとき	6
◎トラクタを止めるとき	7
◎点検や格納のとき	7
安全銘板貼り付け位置	8
保証とサービスについて	9
◎保証書について	9
◎アフターサービスについて	9
◎補修部品の供給年限について	9
各部の名称	10
装着方法	11
◆トラクタへの装着順序	11
作業前の準備・調整	14
◆調整上の注意	14
◆調整の方法	14
作業方法と調整	15
◆作業上の注意	15
◆作業方法	15
◆調整の方法	16
シャーボルトについて	20
保守管理	21
保有部品について	22
主要諸元	23

ササキ商品をお買上げいただき、
誠にありがとうございます。

はじめに

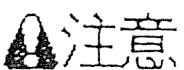
- この取扱説明書はコンバートレンチャーの取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- コンバートレンチャーは長いものを収穫する作業機です。その他の目的で使用しないでください。
- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失又は損傷された場合は、速やかに当社又は当社の特約店・販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
- 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを意味します。



その警告文に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。



その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。使用前に必ずお読みください。

安全に作業をするために

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み、ご理解いただいたうえで安全な作業を行ってください。安全に作業するためにぜひ守っていただきたい注意事項は下記のとおりですが、これ以外にも本文の中で「**▲ 警告サイン**」として説明の都度取り上げております。

◎ 一般的な注意事項

▲ 警告 こんなときは作業をしない。

過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。

酒を飲んだとき。

妊娠しているとき。

18才未満の人。

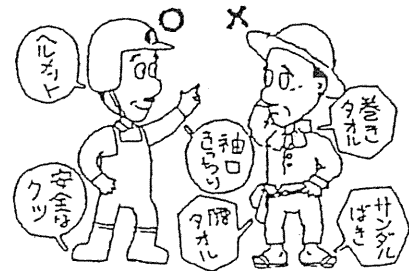


▲ 警告 作業に適した服装をする。

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。ヘルメット・滑り止めのついた靴を着用し、作業に適した防護具などをつけ、だぶつきのない服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、滑って転倒するおそれがあります。

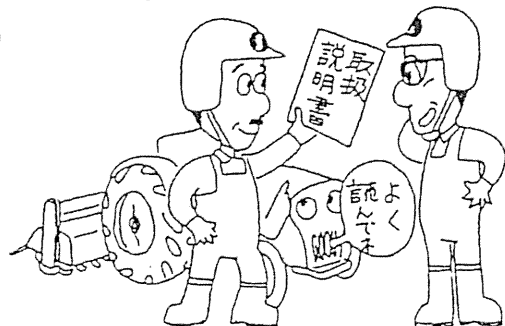


▲ 警告 機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する。

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

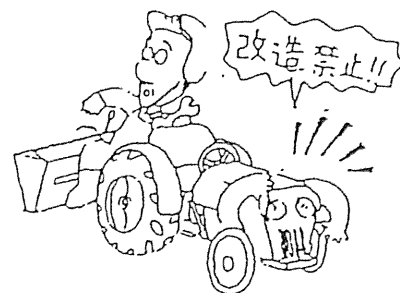
【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねくおそれがあります。



⚠ 注意 機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けな
いでください。



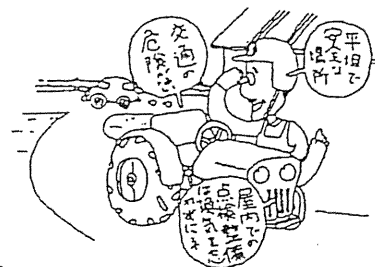
【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

◎作業の前に

⚠ 警告 仕業点検整備は平坦で安定した場所で行う。

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない
平坦で安定した場所で、トラクタの前輪には輪止め
をして点検整備してください。

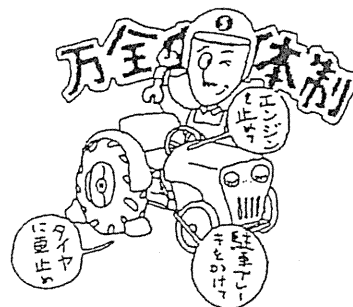


【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。

⚠ 警告 点検整備中はエンジン停止

点検・整備・修理または掃除をするときは、必ず
エンジンを停止してください。



【守らないと】

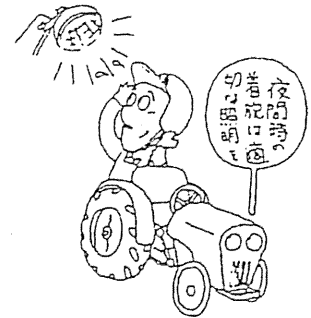
機械の下敷きになるなど、障害事故をおこすおそ
れがあります。

⚠ 注意

- ◇作業の前には点検・整備を行ってください。
- ◇各部のボルト・ナットなどのゆるみや、ピンの脱落がないか確認してください。
- ◇カバー類を外したら、必ず取り付けてください。

◎ トラクタへの着脱

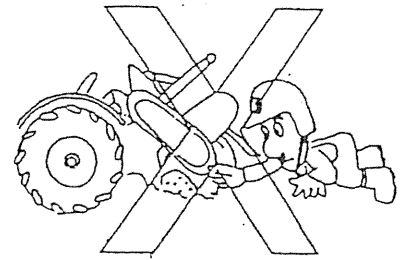
⚠ 警告 作業機の着脱は平坦な場所で行う
作業機の着脱は平坦で安定した場所で行ってください。
夜間は、適切な照明をしてください。



【守らないと】

事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 警告 作業機の下にもぐったり、足を入れない
作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないで
ください。



【守らないと】

何かの原因で作業機が下がったときに、障害事故を負
うおそれがあります。

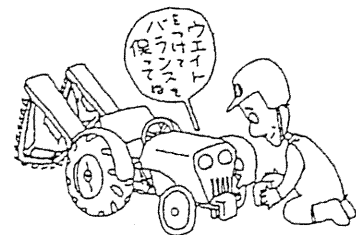
⚠ 危険 運転時はジョイントカバーを外さないでください



【守らないと】

ジョイントに巻き込まれて障害事故をおこすおそれが
あります。

⚠ 警告 重い作業機をつけるときはウエイトでバランスを取る
重い作業機を装着したときは、フロントにバランス
ウエイトをつけてバランスを保ってください。



【守らないと】

バランスを崩して事故を引き起こすおそれがあります。

▲ 注意

- ◇トラクタから離れるときはエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてP T O変速を中立にしてください。
- ◇二人以上で着脱を行う場合は、互いに合図を確認しあって作業してください。
- ◇ユニバーサルジョイントの止めピンが確実に軸溝にはまっているか確認してください。
- ◇取付け部の止めピンが全て確実に装着されているか確認してください。

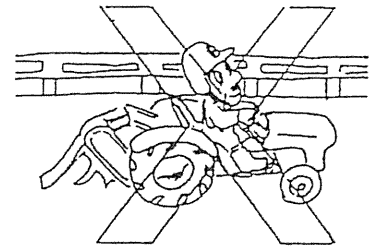
◎路上走行

▲ 注意 公道走行時は作業機の装着禁止

公道走行をするときは、作業機を取り外してください。

【守らないと】

道路交通法違反です。事故を引き起こすおそれがあります。



▲ 注意

- ◇トラクタ、作業機に運転者以外の人を乗せないでください。
- ◇作業機の回転を止めて走行してください。
- ◇トラクタの落下速度調整ハンドルを回して必ず油圧ロックをしてください。
- ◇旋回するときは、作業機に人や物が接触しないように注意してください。
- ◇作業機を装着した時、機体寸法が大きくなるので移動走行時は十分注意してください。
- ◇溝のある農道や両側が傾斜している農道では、路肩に十分注意して移動してください。

◎圃場の出入り

▲ 注意

圃場に入るときは、必ず前進で速度を落とし、作業機を低くして重心を下げ、アゼや段差に対して直角に進んでください。アゼや段差に対して斜め方向に進むと、横滑りや転倒する危険があります。

◎作業をしているとき

⚠ 警告 回転部(爪、刃、軸等)に巻き付いた草等を取る時はエンジン停止

【守らないと】

機械に巻き込まれて、重傷を負うおそれがあります。



⚠ 警告 子供を近づけない

子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



⚠ 警告 トラクタと作業機の周辺に人を近づけない

トラクタを移動して作業機と着脱するときは、トラクタの周辺や作業機との間に人が入らないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故をひき起こすおそれがあります。



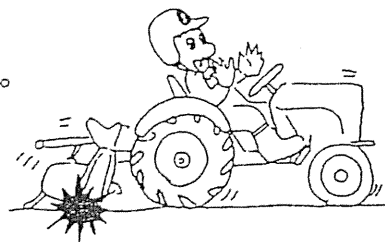
⚠ 警告 作業機指定のPTO回転を守る

低速回転用の作業機を高速回転で使用しないでください。

作業機指定のPTO回転速度を厳守してください。

【守らないと】

作業機が異常作動し、事故や機械の破損を引き起こします。



⚠ 注意

◇補助作業者がいる場合は、動作ごとに合図をかわして下さい。

◇回転部分が動くところには触れないで下さい。

◎トラクタを止めるとき

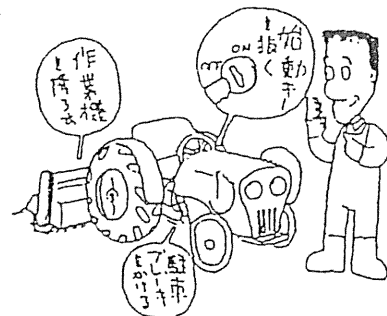
▲ 警告 機械から離れるときは作業機を地面に降ろしてエンジンを止める

機械から離れるときには、平坦で安定した場所に置き、エンジンを止めて、必ず駐車ブレーキを掛け輪止めをしてください。

作業機を地面に降ろしてください。

【守らないと】

トラクタが動きだし、事故をおこすおそれがあります。



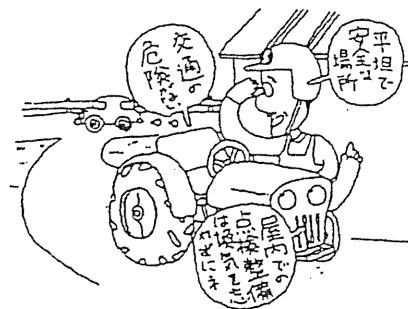
◎点検や格納のとき

▲ 警告 点検整備は平坦で安定した場所で行う

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で、トラクタの前輪には輪止めをして点検整備をしてください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。



▲ 注意


◇点検、整備時はトラクタのエンジンを止めてください。

◇機械の下にもぐったり、下で作業をしないでください。

◇キャスターなどが付いている場合、車止めをして作業してください。

安全銘板貼り付け位置 TC315WD

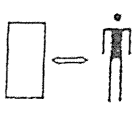
危険



エンジンジョイントカバーを閉めていない状態で、カバーを開けると、手や足が挟まる可能性があります。

0000-01210-0

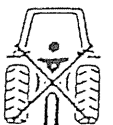
警告



エンジンPTOの回転部に手を近づけないでください。手を巻き込まれる可能性があります。

0000-02330-0

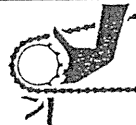
警告



トラクタのローリングの際、足や手を巻き込まないようにしてください。手を巻き込まれる可能性があります。

0000-02340-0

警告



カバーを取り外したまま使用しないでください。手を巻き込まれる可能性があります。0000-02510


0000-02510

注意

- エンジンと熱出して、安全に作業してください。
- ボルト、ナットの締め、ピン等の取付が正しいことを確認してください。
- エンジン始動時、周囲に人がいないこと。
- トラクタとの衝突に注意して行ってください。
- 足元、手元、前方をよく確認してください。
- 作業中に人を近づけないでください。
- トラクタから降りるときは、エンジン停止。
- 歯車は必ず保護罩でエンジン停止。
- 作業時、PTOを切ってください。
- 作業時、カバーを閉めてください。
- 足元の長さのジョイントを必ず確認してください。

0000-03300-0

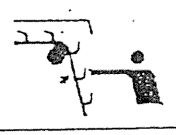
警告



7-4タイムロ、をからないでください。手を巻き込まれる可能性があります。

0000-02230-0

警告



エンジン、またはトラクタのエンジンまたはPTOの回転部を近づけないでください。手を巻き込まれる可能性があります。

0000-02480-0

注意

- 安全銘板ラベルが破損したり、はがれた場合は、上記番号にて手配の上、貼り直してください。
- 新しいラベルを貼る場合は、汚れを完全にふき取って、乾いた面にしてもとの位置に貼ってください。

保証とサービスについて

◆保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際、必要となるものです。お読みになった後は、大切に保管して下さい。

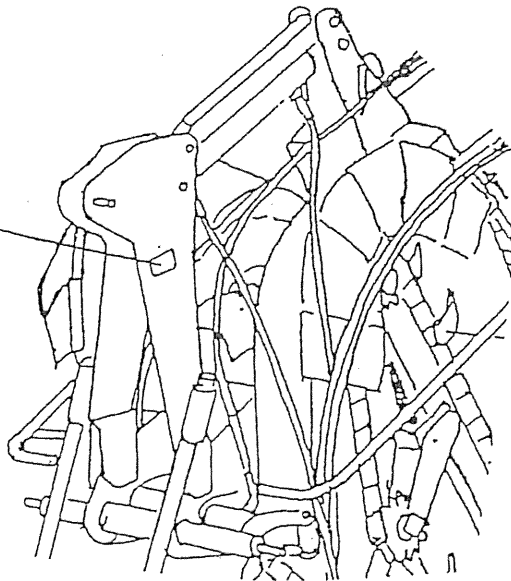
◆アフターサービスについて

ご使用中の故障やご不審な点があるときは、お買上げいただいた販売店へご相談下さい。

〈連絡していただきたい内容〉

- ・ 型式名
- ・ 製造番号
- ・ ご使用状況は？（どんな作業をしていた時に）
- ・ どれくらい使用されましたか？（約何アールまたは何時間使用后）
- ・ 不具合が発生した時の状況をできるだけ詳しく教えて下さい。

型式名と製造番号

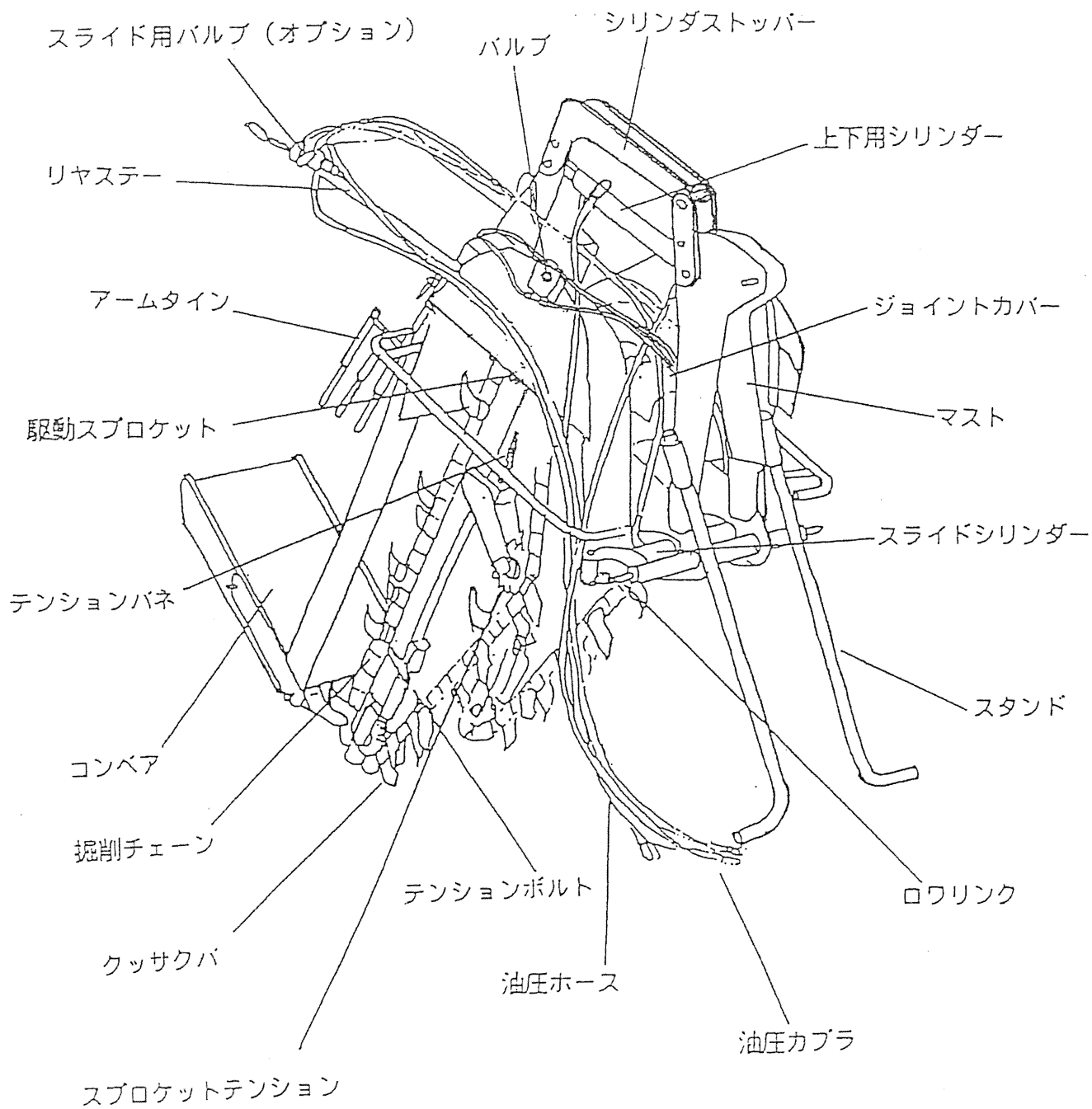


◆補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限は、製造打ち切り後9年です。

但し、供給年限内であっても、特殊部品については納期等をご相談させていただく場合もあります。

各部の名称



装着方法

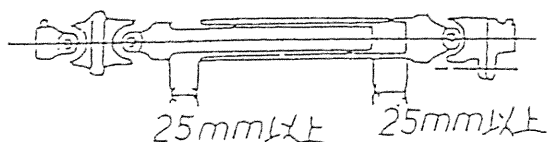
▲注意

1. 着脱時には、回りに人がいない事を確認してから作業をして下さい。
2. 2人以上での作業は合図を掛け合い、安全を確認しながら操作して下さい。
3. 装着作業は、平坦で足場の良い場所で行なって下さい。
4. 装着時は、トラクタとトレンチャーの間に入らないで下さい。
5. 着脱作業時は、トラクタのエンジンを停止してから行なって下さい。
6. 各部のボルト、ナット類の緩み、及びピン類の脱落がないことを確認し、緩みがある場合等、増締めしてから作業して下さい。

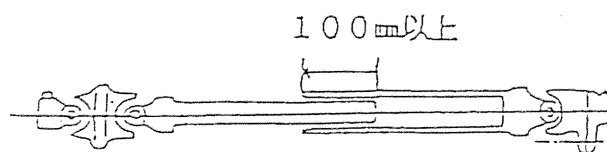
トラクタへの装着順序

- ①トラクタのロウリンクが作業機の取付ピンに近づく位置までトラクタを移動し、油圧レバーを下げてください。
- ②トラクタの左ロウリンクに作業機のピンをセットして下さい。
- ③右ロウリンクのレベリングハンドルで高さを調整しながらセットして下さい。
- ④トップリンクをセットして下さい。
- ⑤ユニバーサルジョイントを取り付けて下さい。ユニバーサルジョイントの長さは、トラクタの機種により異なりますので、必ず、適正な長さに切断してから装着して下さい。

最縮時

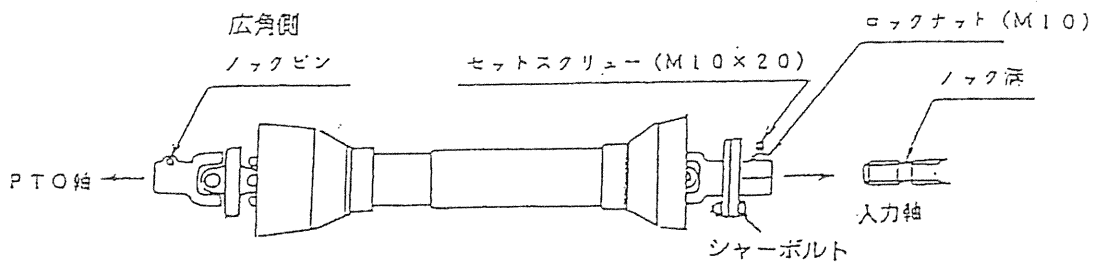


最伸時



※ユニバーサルジョイント切断の場合、ジョイントの最伸時には100mm以上の重なりが必要であり、最縮時には各25mm以上の間隔が必要です。
黄色いポリカバーも同じ長さで切断して下さい。

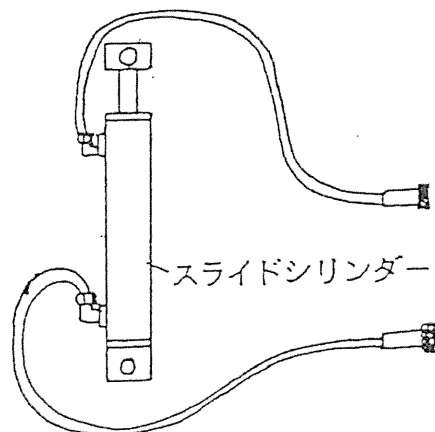
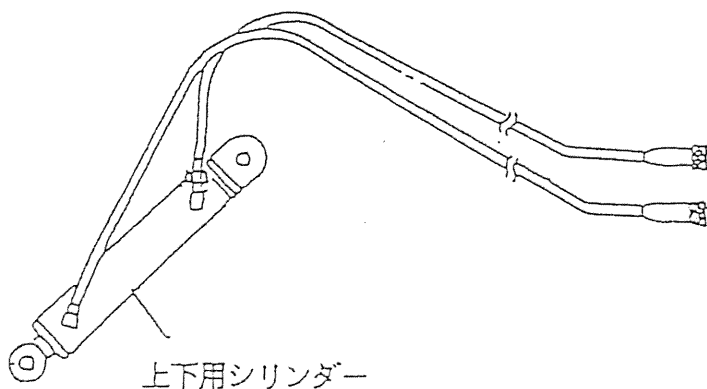
※ジョイントは広角側をトラクタのPTO軸に取り付け、ノックピンで確実に固定して下さい。シャーボルト側はトレンチャーの入力軸に取り付けて下さい。この時、入力軸のノック溝の位置にセットスクリュー (M10×20) を合わせて締め付け、ロックナット (M10) で確実にロックして下さい。



⑥ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように付属の鎖 (チェーン) で固定して下さい。

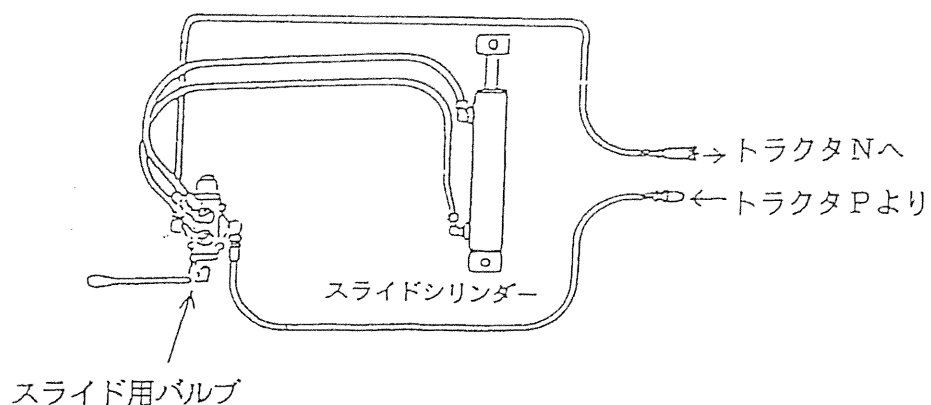
⑦シリンダーの油圧ホースをトラクタのカプラと接続します。

上下用シリンダーは、レバーを引上げた時、本体が上がるようにカプラを接続して下さい。スライドシリンダーはスライド用バルブのラベルと同じ方向にレバーを動かした時、本体が動くようにカプラを接続して下さい。



【スライド用バルブ（オプション）にて接続の場合】

スライド用シリンダーはスライド用のバルブの操作レバーを右へ操作したら、右側へスライドするようにカプラを接続して下さい。



- ⑧ トレンチャーのスタンドのピンを抜いてスタンドを持ち上げてピンを差して下さい。
- ⑨ 三点リンクで、作業機を少し持ち上げて両側チェックチェーンを張ります。
- ⑩ 以上、装着が完了しましたら、三点リンクをゆっくり上下し、又上下用シリンダー、あるいはスライドシリンダーを操作させて、ジョイント・フレーム等が他に接続していないことを確認して下さい。

作業前の準備・調整

調整上の注意

- ①掘削部を浮かして調整する場合は、必ず、シリンダーストッパーをセットして下さい。
- ②掘削チェーンは張り過ぎたり、緩め過ぎにならないようにします。
- ③オイル補給する場合は、オイルの種類に注意し、同種のものを使用して下さい。
- ④補助コントロールバルブのレバー操作をする時は、必ずシリンダー固定金具を外して下さい。

調整の方法

- ①三点リンクの油圧レバー及びコントロールバルブのレバーを数回動かすと、トラクタの油圧用の油量が不足する場合がありますので、トラクタのオイルゲージにより給油して下さい。
 - ②配管等からの油もれがないか、確認して下さい。
 - ③掘削チェーンの張りを調整して下さい。
※砂地等では、若干緩めの調整をして下さい。
 - ④掘削部を地表より浮かし、低速でPTOを駆動し、異音等がないか確認して下さい。
- ⚠ 注意 : 機械の周囲に危険がないことを充分確認してから駆動して下さい。

作業方法と調整

作業上の注意

- ①掘削部が地上にある場合は、必要以外絶対に駆動しないで下さい。
 - ②作業においては、PTO回転数500～540rpm、車速0.5km/h以内を厳守して下さい。
 - ③作業中、異音を発した場合には、速やかに作業を中断し、確認対処して下さい。
 - ④運転者が運転席を離れる場合は、必ずエンジンを止めて下さい。
 - ⑤作業は、始点から終点まで直線に行なって下さい。（蛇行しないこと）
 - ⑥作業中、補助作業者は、できるだけ機械から離れて作業して下さい。（機械に人を近付けないこと）
- ▲ 注意 : 点検、整備時は、エンジンを停止して行なって下さい。
外したカバーは、必ず取り付けて下さい。

作業方法

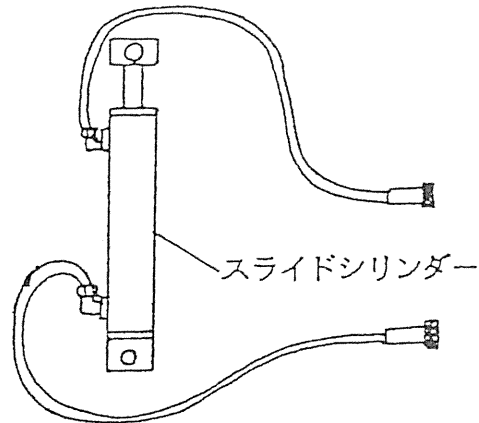
- ①掘削する場所に、機械をセットして下さい。
- ②シリンダー固定金具を外して下さい。
- ③三点リンク高さをセットして下さい。
- ④シリンダーを伸ばし、掘削部を地表面まで下げて下さい。
- ⑤走行レバーを微速1速に、PTOレバーを1速にセットして下さい。
（エンジンはできるだけ低速に）
- ⑥シリンダーをゆっくり伸ばしながら、所定深さまで掘り下げます。
注) ブレーキペダルを踏んでいて下さい。
- ⑦掘削部が所定深さまで入ったら、エンジン回転を上げて作業します。
- ⑧掘削作業が終点まできたら、走行レバーを中立にし、ブレーキペダルを踏んで、エンジン回転を下げます。
- ⑨シリンダーをゆっくり縮めて、掘削部を地上に出し、PTO回転を止める。
三点リンクを操作して、掘削部を最大まで持ち上げて下さい。
- ⑩作業が終了したら、エンジンを止め、シリンダー固定金具、三点ヒッチの絞り弁を締めて作業部を固定します。

調整の方法

①スライドシリンダー

長いものが左右の掘削チェーンの中央にくるように、安全ガードに取り付けてある補助コントロールバルブの操作レバーでスライドシリンダーを操作して下さい。

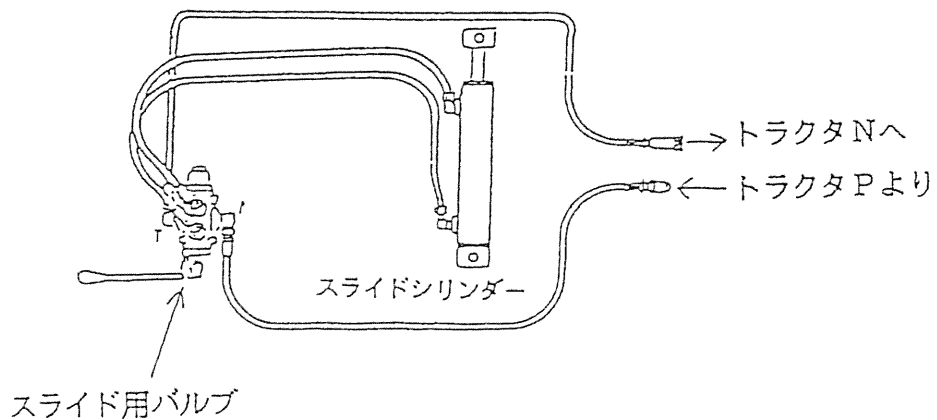
操作レバーを右へ操作したら、右側へスライドするように油圧ホースを接続して下さい。



【スライド用バルブ（オプション）による接続の場合】

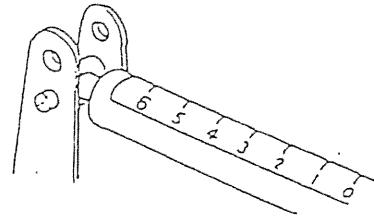
長いものが左右の掘削チェーンの中央にくるように、安全ガードに取り付けてある補助コントロールバルブの操作レバーでスライドシリンダーを操作して下さい。

操作レバーを右へ操作したら、右側へスライドするように油圧ホースを接続して下さい。



②上下用シリンダー

上下用シリンダーの伸縮により、コンベアの角度が変わります。シリンダーを緩めるとコンベア角度が急になり、長いもの浮き上がりが大きくなります。シリンダーを伸ばすとコンベア角度が緩くなり、長いもの浮き上がりが小さくなります。



※粘土地の場合は、コンベア角度を急にすると抵抗が増えるばかりではなく、長いもの損傷率が高くなりますので、コンベア角度を緩くして作業をして下さい。

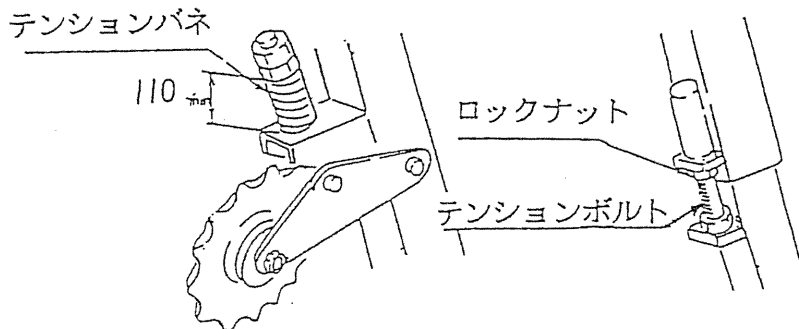
チルトシリンダーには目盛がついていますので、適正な作業姿勢に調整する場合の目安にして下さい。

③掘削チェーンの張り調整

作業中、掘削チェーンが緩んだ場合には、テンションバネの長さが 110 mmになるようにテンションボルトで調整して下さい。

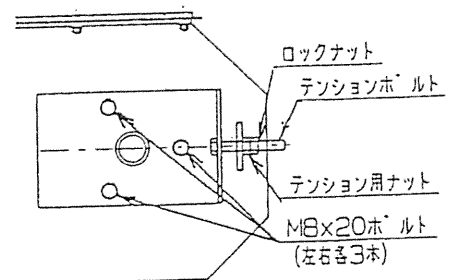
調整後、ロックナットで確実にロックして下さい。

※砂地等では、張りを緩めにして下さい。



④コンベアの張り調整

コンベアの張りの調整はM8×20ボルト（左右）を緩め、テンションボルトで調整して下さい。調整後はテンションボルトのロックナットを確実にロックし、M8×20ボルトを締め付けて下さい。



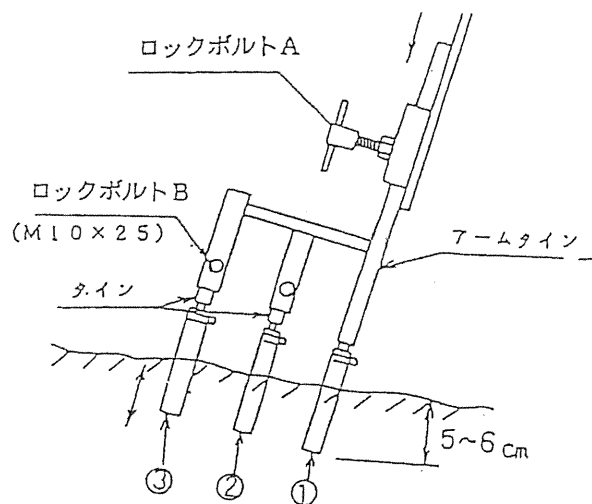
※コンベアベルトの内側に土が入ると張りが強くなり、コンベアが動かなくなる事があります。その場合には、上述のテンションボルトを緩めて、コンベアベルトをたるませて内側の土を取り除いた後、コンベアの張りを調整して下さい。

※気温が0℃以下になると、コンベアの内側に入った土が凍ってコンベアが動かなくなる場合がありますので注意して下さい。このような場合にはコンベアを土中に入れておくか、屋内に格納して下さい。

⑤首出装置の調整

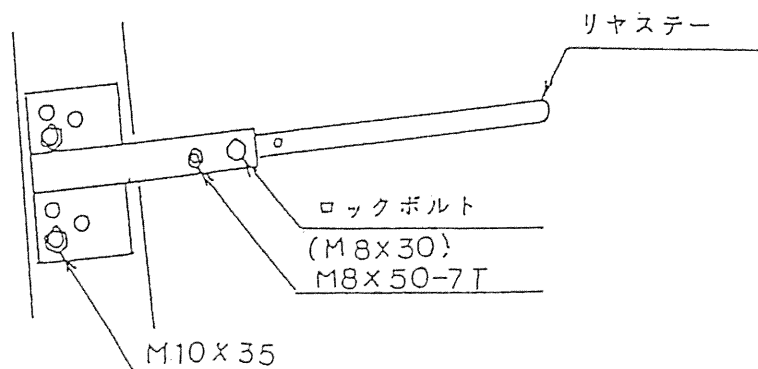
首出装置の作用深さが5～6cmになるようにロックボルトAを緩めて、アームティンを上下させて調節し、アームティンの座グリ穴に合わせてロックボルトAで確実に固定して下さい。

②、③の作用深さが浅い場合には、ロックボルトB (M10×25)を緩めて、ティンを引き出して調節して下さい。調節後はロックボルトBで確実に固定して下さい。



⑥リヤステーの調整

リヤステーは安全ガードと手すり兼用です。上下方向、前後方向共に3段階に調整出来ますので、作業しやすい位置に合わせて固定して下さい。

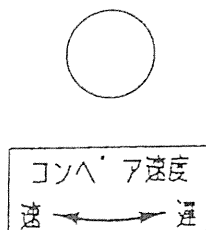


⚠ 注意 : 作業機を装着すると前後バランスが変わります。発進時、前が浮く場合、フロントウェイトを装着して下さい。転倒する場合があります。

⚠ 注意 : 移動時には、シリンダーストッパーを装着して下さい。

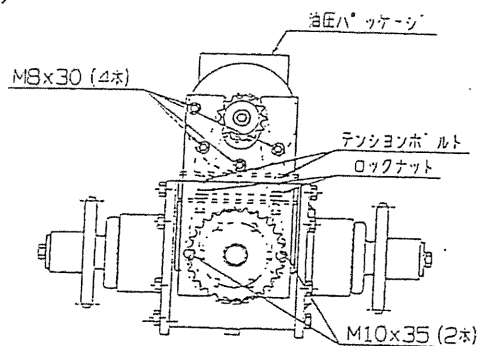
⑦コンベアベルト速度の調整

コンベアベルトの回転速度は、バルブのつまみを左右にまわして調整して下さい。



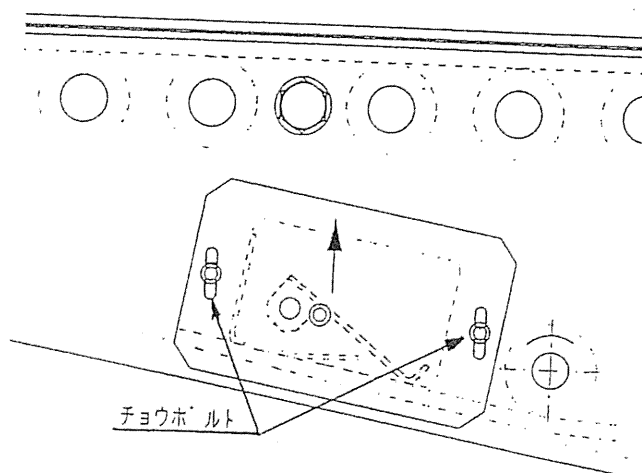
⑧油圧パッケージのチェーンの張り調整

M8×30 (4本), M10×35 (2本) ボルトを緩め、テンションボルトで調整し、テンションボルトのロックナットを締め、緩めたボルトを締めて下さい。
(チェーンのたわみ 約3mm)



⑨クリーナケースの脱着方法

クリーナケースをはずす時は、チョウボルトを緩めレバーを矢印の方向にずらしてから引き出します。付ける時は、逆の手順でレバーをずらしてから挿入しチョウボルトを締めます。



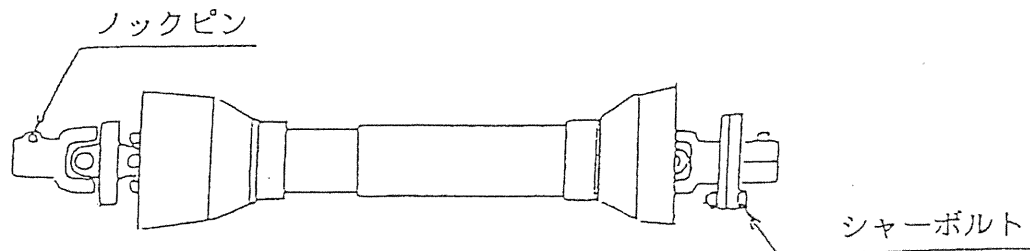
シャーボルトについて

・本機には、過負荷から各機構部を守るため、シャーボルトが装備されています。
シャーボルト交換の際には次の事項に注意して下さい。

- ①シャーボルトは、ササキの純正部品以外のものは絶対に使用しないで下さい。
- ②本機のご使用前には、シャーボルトの緩み等を点検し、ナットを確実に締め付けて下さい。
- ③シャーボルトが切断した時には、トラクタのエンジンを停止してから点検し、必ず、その原因を取り除いてからシャーボルトを交換し、作業を行なって下さい。

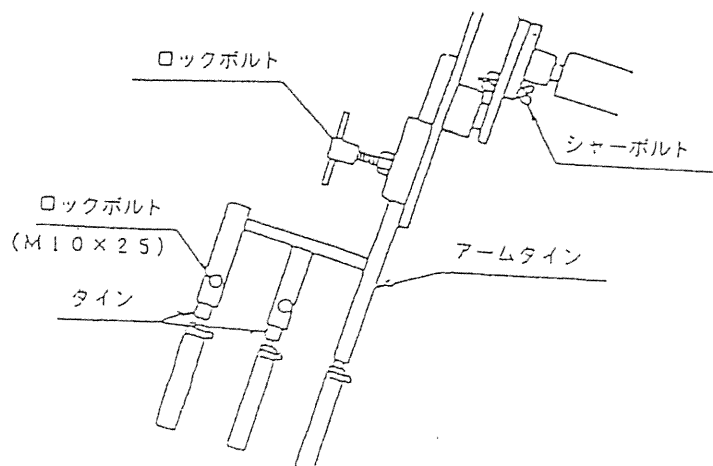
1) 本機はシャーボルト付ジョイントを使用しています。シャーボルトが切断した場合は、下記の純正部品をお使い下さい。

部品番号	部品名	規格
01012-08050	シャーボルト	M8×50-8T
01590-08000	ロックナット	M8



2) 首出し装置にもシャーボルトを使用しています。シャーボルトが切断した場合は、下記の純正部品をお使い下さい。

部品番号	部品名	規格
01300-05030	チョウボルト	M5×30
01630-05000	チョウナット	M5
01702-05000	バネザガネ	M5

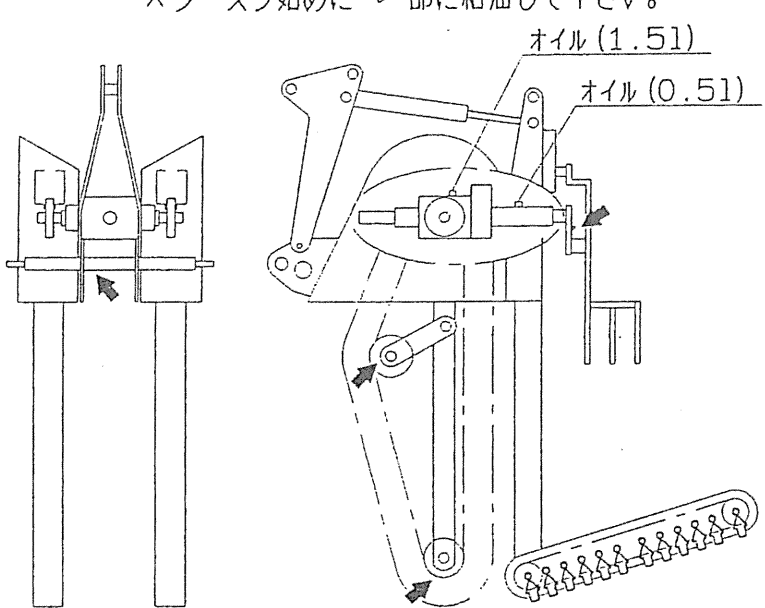


保守管理

- ①作業後は、水洗い等をし、土や巻きついた異物を完全に取除きます。
- ②消耗部や破損箇所を確認し、交換又は修理して下さい。
- ③格納の際は、掘削チェーンには排油又はグリース等を塗布して下さい。
- ④カバー類には、補修塗装をして下さい。
- ⑤各部のボルト、ナットの増締めをして下さい。
- ⑥格納に際しては、機械が安定するように注意して下さい。

※オイル・グリースの供給基準 (オイルは早めに交換して下さい。)

1, グリース給油箇所
 ※4時間毎 → 部に給油して下さい。
 ※シーズン始めに ⇨ 部に給油して下さい。



クロスジョイントのジョイント部及び
 スライダ部に使用毎給油して下さい。

2, オイル交換

給油箇所	種類	容量	1回目	交換時間
ミッション1	#80~#90	1.5l	20時間	50時間
ミッション2	#80~#90	0.5l	20時間	50時間

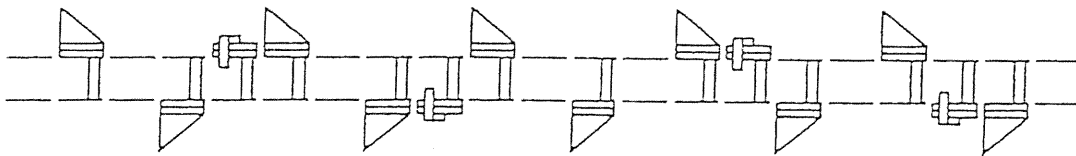
保有部品について

トレンチャー作業の場合、土質条件により掘削刃、チェーン、スプロケット等の消耗が著しく異なります。スムーズな作業を行なうために、下記の保有部品は早めに準備しておいて下さい。

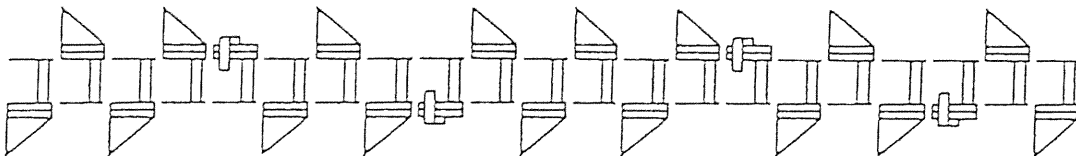
内側列の掘削刃が摩耗してきた場合は、チェーンごと左右を入れ替えることにより、交換時期を遅らせることができます。

部品番号	部品名	常時保有	平均消耗度	交換時期
V35-232200-0	掘削刃	1set以上	5,000m	
W61-113500-1	駆動スプロケット	2ヶ	8,000m	刃が1/2損傷したら交換
D14-313100-0	スプロケットテンション	4ヶ	8,000~10,000m	刃が1/2損傷したら交換
D14-152100-0	掘削チェーン #100-100リンク	2本	10,000m	ローラに穴があいたり、割れたりする
W61-370000-0	チェーンギア	3 set		
W62-331101-0	ローリンク #100	3 set		
01402-16100	テンションボルト 掘削刃取付ボルト	2ヶ 1台分		掘削刃交換時

標準



増やす場合



<参考>

土質によりますが、図のように掘削刃の数を増やすことによって、掘削抵抗が軽減される場合もありますので、当社又は当社の特約店・販売店にお問合せ下さい。

主要諸元

型 式	ササキTC315WD
全 長	2, 170 (mm)
全 幅	1, 600 (mm)
全 高	1, 900 (mm)
重 量	465 (kg)
掘取幅	34 (cm)
掘取深さ	120 (cm)
作業速度	0.2~0.5 km/h
適応トラクタ	23.6<4駆・ロータ付>~51.5(32~70) KW (PS)
装着方法	3P直接

Sasaki

株式会社

ホームページ <http://www.sasaki-corp.co.jp>

ササキコーポレーション

本社・工場 /〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-3111	FAX 0176-22-8607
営業部 /〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-0170	FAX 0176-25-3127
部品窓口 /〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-25-3170	FAX 0176-25-3171
北東北営業所 /〒034-0001	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-75	TEL 0176-23-0354	FAX 0176-23-9655
仙台営業所 /〒989-1631	宮城県柴田郡柴田町東船迫2-4-11	TEL 0224-58-7780	FAX 0224-58-7782
関東営業所 /〒329-0201	栃木県小山市栗宮1241-9	TEL 0285-45-8911	FAX 0285-45-8910
長岡営業所 /〒954-0124	新潟県長岡市中之島字1982-13	TEL 0258-66-0888	FAX 0258-66-0988
岡山営業所 /〒702-8002	岡山県岡山市中区桑野110-2	TEL 086-274-9508	FAX 086-274-9510